

こさい太郎を励ます会

三月十八日（土）午後六時半より南青山会館にて開催

（こさい太郎を育てる会主催）

激励すると共に、国政の現状もみなさまにお伝えする会です。

また、こさい太郎の港区に対する思いや、将来像等をお話させていただきます。

みなさま、ご多用の折とは存じますが、お誘いあわせの上ご参加頂ければ幸いです。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

来たる三月十八日（土）、こさい太郎を励ます会が南青山会館（下記参照）で開催されます。鳩山由紀夫、菅直人、宇佐美登各衆議院議員等をゲストスピーカーに迎え、「住み続けられる港区」を標榜し、港区において活動する、こさい太郎を

《港区ニュース》
また一つ消えゆく

「思い出の場所」

―港区の人口減少を象徴

神明小
閉校式

去る三月四日、神明小学校（浜松町）で閉校式が行なわれました。一九一四年に開校し、八一年の歴史を刻み、ピーク時には一二〇〇名を数えた神明小の児童数は一〇八名に減少してしまいました。港区内の小学校の統廃合は御成門地区、赤坂地区に続き、三ヶ所目で、当面は一段落とこのことです。但し、児童数百人以下の小学校は区内に三校も残っています。バブル経済期の地価高騰などによる人口の急激な減少のしわ寄せがこれらの小学校の統廃合に象徴されています。このまま子供の数が減り続けることは、生活空間としての、また、ふるさと港区の存立基盤を失うということなのです。

桜の咲く頃、新入生を迎える小学校が
また一つ消えゆきます。

『こさい太郎を励ます会』への
お問合せなどは…

港区南青山五の四の二十九

TEL (五四八五) 九一一一

FAX (五四八五) 九一〇〇

こさい太郎を育てる会事務局までお気軽にどうぞ。

『魅力あるまちづくり』が港区に人を呼ぶ！（こさい太郎のコラム）

今回の当紙「港区ニュース」の中で、神明小学校の閉校について掲載されました。バブル経済期、住民の意志にかかわらず、オフィスタウンへの変貌を遂げ、そのための地価高騰などで人口の激減を余儀なくされた港区の宿命を感じざるを得ません。その後バブル経済は崩壊への道を歩みましたが、その余波は子供の激減という形で現れたのです。当時、オフィス化の流れは誰も止めようがありませんでした。しかし、これからは、港区に生活する人間が主人公の新しい港区に方向転換を図らねばなりません。「住み続けられる、ふるさと港区」を私たち住民の力を中心にしていきたくないと考えております。

そのためには、人口減少を食い止めることが必要です。そして、それには「魅力あるまちづくり」が不可欠です。

①次世代を担う若者たちを港区に

・従来の区の政策である家賃補助や民間住宅の借上げの一層の推進と提供。

・若者が積極的に参加できる新しい型の地域などのコミュニティーの充実を図る。

・若者の定住により将来の高齢者福祉の充実を図る。

②子育てファミリー層定住のために（特色ある教育を）

・ふるさと意識を育んでもらうための地域密着型教育の推進。

・将来、区民が主人公である港区を作るため、ボランティア教育の徹底を図る。

・豊かな感性や、人格形成のため、国内外を問わず交流教育を推進する。

③緑豊かな生活環境を港区に

・既存の公園の形を改め、水や樹木に親しめる公園を防災上の観点からも設置推進する。

・区外からの車両の流入制限を検討する。

・地球に優しいリサイクル型社会を目指す。

「ご協力を心より感謝申し上げます！」

私どもの日常活動に対し、左記のみなさまに「ご協力頂きました。ありがとうございます。」ございました。

アルミ缶リサイクル↓南青山シャツ―東洋自治会様

「回収箱を設置して頂きました」

使用済みテレホンカード回収↓北青山 斉藤様、赤坂 金城様

看板の設置↓西麻布 嶋様

事務局でのお手伝↓南青山吉川様、佐藤様、他多数のみなさま

今後ともこの様な活動を続けて参ります。多くのみなさまの

ご協力をお待ち申し上げます。

アルミ缶ポストの設置場所

前回、港区のリサイクル運動について掲載したところ、数名の方よりアルミ缶の回収場所のお問合せがありましたので、ご案内いたします。皆様、是非ご協力下さい。（なお、当事務局でも回収しております）

みなさまのご意見、日頃感じていること、身近なニュースなどを下記までお気軽にお寄せ下さい

こさい太郎を育てる会事務局〒107 港区南青山5-4-29 TEL 5485-9111 FAX 5485-9100

お手紙、お電話、FAXいずれも大歓迎です。また、直接お越し下さりお話し頂ければ、なお幸いです。

さきがけニュース

新党さきがけでは、4月21日まで、BAY-FM（78.0MHz）で、平日の朝・夕1回づつ基本理念に沿ったコマーシャルを放送しています。この放送は、東京、千葉、神奈川、埼玉、茨城、栃木、群馬の各都県で受信できます。是非一度、聞いてみて下さい。

編集後記

啓蟄が過ぎ、毎日に春の足音が近づいて参りました。春は卒業の季節ですが、卒業と共に母校がなくなるのは、大変淋しいことと思えます。定住人口減少問題を抱える港区の現実を改めて感じさせられます。

私たちの住むこんな港区をも含む、東京都の知事選挙は来月、四月九日（日）です。東京の将来を、私たち住民の立場から考えてくれるような方を心して見極めたいものです。

なお、アルミ缶回収のご協力を頂き、二月分で二三五円の図書券と交換することが出来ましたのでご報告いたします。ありがとうございます。